

# MIURA BAIEN × Blockchain

三浦梅園生誕300周年記念シンポジウム



真の経済の実践とは。  
三浦梅園の生誕300年の遺徳を偲び、  
これから先の300年の子孫の  
幸福のため何を実践するべきか、  
実践を中心に学び直すシンポジウム。

シンポジウム  
出演者



徳積財団 副理事長  
野見山 広明氏



両子寺 副住職  
寺田 豪淳氏



国東市長  
松井 督治氏



雲水  
星覚氏

とき

2023 12.10 [日]  
9時45分～12時30分  
(9時15分 開場)

申込

一般財団法人徳積財団HP  
<http://www.tokutsumi.or.jp>  
にアクセスし、必要事項を  
入力の上送信。



ところ

三浦梅園旧宅

三浦梅園資料館 横 〒873-0355  
大分県国東市安岐町富清2507-1  
電話:0978-64-6311  
ファックス:0978-64-6310



Googleマップ

参加

参加 先着30名まで  
大切な生家での開催のため、ご参加人数を限定  
しております。ご理解のほどよろしくお願い致します。



## 要旨

産業革命以降、物質的にも科学的にも世界は豊かになったように見えますが本当はどうなのか、資本主義の発展と共に人間力は退化し世界経済は行き詰まりを見せています。世間では現代の経済モデルに警鐘を鳴らす人たちも増えてきて様々な場所で経済についての議論や対話が始まっています。

そんな中で、私たちは改めて「真の経済」とは一体どういうものだったのか、そして新たなテクノロジーとの共存をどうすべきか、これらを歴史や先人の遺徳から学び直すことが大切だと考えています。人類は歴史に学べば、常に方向性を正していくことができるからです。

日本には今からちょうど300年前に三浦梅園という偉人が誕生しました。この方は、生涯官仕えせず自然の探究に一生を捧げた江戸時代の自然哲学者にして、思想家、医者であり経世済民の実践家です。その著書「徧原」には今日の問題をまるで見透かすかのように産業革命以降進めてきた経済の行く末を予言しその通りになっています。

世界がまさに混沌とする今の時代こそ、三浦梅園が語る300年前から今を検証し、これからの新たな300年先の子孫のために何を見つめ実践していくことが必要なのか。そしてその道をひらくためのものとは果たしてどのようなものか、それを徳積循環経済の実現に向けてブロックチェーンを活用したシステム徳積帳を開発する徳積財団の野見山広明と、世界を遊行する雲水の星覚氏。また三浦梅園の菩提寺にして国東六郷満山の総持院を担う寺田豪淳氏、また伝統と革新が和合したまちづくりを志す松井督治氏と梅園先生の遺徳を偲びながら、「子孫の幸福のため、果たすべき実践とは何か？」を問うシンポジウムを開催します。

## 2023年12月10日[日] スケジュール

十分な防寒対策のうえご来場いただきますようお願いいたします。

- 9:45- ■ 三浦梅園の生誕300年を偲び、旧宅のお手入れと掃除
- 10:30- ■ ブロックチェーンについての説明
- 11:00- ■ 開会あいさつ 徳積財団副理事長 野見山広明  
■ シンポジウム 「三浦梅園×ブロックチェーン×正徳の経済」  
松井市長 寺田氏 星覚氏 野見山氏
- 12:30- ■ 終了
- 13:30- ■ 自由参加 三浦梅園と遺徳の道、遊行体験。  
※自由参加で、三浦梅園の里を歩き、徳積みの体験、遊行を実践します。  
※参加希望の方は、お弁当をご持参下さい。



## 出演者プロフィール



野見山 広明  
のみやま ひろあき

一般財団法人 徳積財団 副理事 <http://www.tokutsumi.or.jp>

株式会社カグヤ 代表取締役社長 <http://www.caguya.co.jp>

九州工業大学情報工学研究院アドバイザー・ボードメンバー、産学官民連携フクオカ・ブロックチェーン・アライアンスのボードメンバー

懐かしい未来を実現し、子どもたちの憧れる生き方、働き方を実現するために日本的経営「暮らしフルネス™」(自著)を実践する。また日本の伝統風土の智慧を伝承し徳を譲り遺すために郷里の古民家の甍生を7軒手掛ける。また自然農法の田んぼと伝統神事の復活、徳積カフェによる徳積活動の啓蒙。また子ども主体の保育環境づくり、場づくりコンサルタント。飯塚市と官民連携で進めるブロックチェーンストリート構想発起人。徳が循環する結の仕組みをブロックチェーンで開発し実証中(「徳積帳」)三浦梅園先生をはじめ、日本の先人たちの知恵や生き方を現代でも参考にして真の経済の実現のために人間教育と技術革新に取り組む。



寺田 豪淳  
てらだ ごうじゅん

### 両子寺 副住職

1978年大分県に生まれる。10歳にて得度、仏門に入る。高校まで地元で過ごし、天台宗の宗門大学大正大学にて仏教学、特に天台学を専攻。在学中に比叡山に於いて四度加行を遂行し、天台宗の僧侶となる。2004年同大学修士課程修了の後、天台宗ニューヨーク別院で法務に就く。2007年より自坊両子寺へ戻り、法務の傍らこれからのお寺のあるべき姿を模索中。六郷満山峯入行四度遂行。鬼会などの伝統行事にも毎年参加している。2011年より両子山に自然森を再生し、地域の水資源を護る両子の森プロジェクト代表。また地域の米を「両子米」とブランド化し、寺院のネットワークを使い販売することにより地域の存続を試みている。



松井 督治  
まつい とくじ

### 国東市長

1983年東京学芸大学卒、同年(株)大分放送入社、2018年メディア局長、20年同社定年退職。22年大分大学大学院経済学研究科で経済学博士を取得。今年3月から国東市長に。「誰もが明るく楽しく暮らせるまちに！」をビジョンに ①人口減少対策 ②地域産業の活性化 ③安心・安全で活気あるまちづくり ④子育て・教育環境の充実 ⑤地域文化の継承と創造一に取り組む。



星 覚  
せいがく

### 雲水

1981年日本人学校で教師をしていた両親のもとシンガポールで生まれ、帰国後は鳥取県米子市で小中高校生活を送る。大学在学中に禅の修行に興味を持ち出家、曹洞宗大本山永平寺で雲水(禅の修行僧)生活を始める。以後、中国、アメリカ、ポーランド、ドイツなど多くの海外道場に参禅。坐禅指導を中心に、禅の暮らしを世界に伝えている。



### 徳積財団とは

一般財団法人 徳積財団とは福岡県飯塚市に本拠をおく財団法人です。日本の徳の循環で継続的に子孫が文化・教育・経済・健康(食農医)の分野で豊かで幸せに暮らしていける国にする。また、日本を徳高い国にすることによって世界の模範となることを目的に設立されました。

<http://www.tokutsumi.or.jp>